

日本産米輸出事業の紹介 「現地精米による市場の拡大」



For Earth, For Life
Kubota

株式会社クボタ
アグリソリューション推進部
高橋 元

1 クボタの精米販売事業

1-1 事業の意義

意義

クボタ・グループの総合力を生かしたすぐれた製品・技術・サービスを通じて、社会の発展や豊かな暮らしを永遠に支えて行く事。

目的

海外において日本米の輸入・精米・販売会社を設立し、日本米の海外販路の拡大を行い、輸出量増大を図り、日本の農業支援ならびに発展に貢献する事。

手段

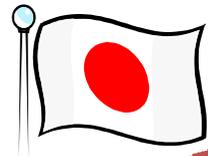
日本から輸入した玄米を海外で精米・販売する事で、安全・新鮮・安定的な供給体制を確立するだけでなく、業務用自動洗米炊飯器などを用いて、高い品質の日本米が提供できるサービスを提案し、日本米の消費量拡大に努めていく。

お米のトータルソリューションを提案します(土作りから炊飯まで)

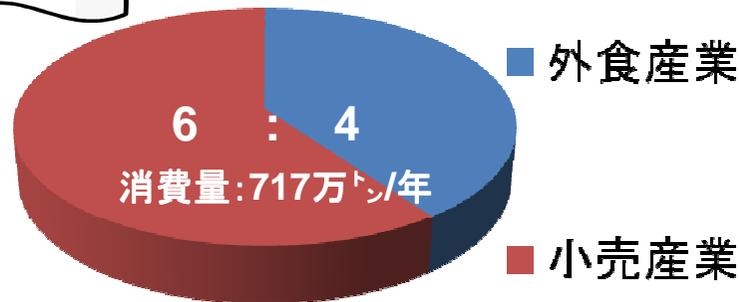


1クボタの精米販売事業

1-2 市場性の違い



日本



規模

- 年間消費量717万ト
- 生産量は需要を上回る

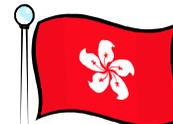
比率

- 家庭内消費が6割
- 外食産業向けが4割

市場性

- 生産調整により価格維持
- 市場拡大は厳しい状況

家庭内消費拡大への施策が必要



香港



規模

- 年間消費量60万ト(2カ国計)
- 100%輸入国

比率

- 家庭内消費は1割のみ
- 外食産業向け9割

市場性

- 外国産米同士の価格競争
- 日本産米の知名度は高い

外食産業向け拡大施策が必要



シンガポール



1 クボタの精米販売事業

1-3 日本産米の輸出実績推移

商業用の米の輸出数量等の推移

	2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年 (速報)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	1,312 (+1%)	545 (+19%)	1,898 (+45%)	691 (+27%)	2,129 (+12%)	683 (-1%)	2,202 (+3%)	726 (+6%)	3,121 (+42%)	1,030 (+42%)	4,516 (+45%)	1,428 (+39%)
香港	481	206	654	249	779	256	916	299	1,207	377	1,744 (+44%)	497 (+32%)
シンガポール	185	79	334	126	598	183	668	208	961	300	1,295 (+35%)	371 (+24%)
台湾	333	115	271	95	183	66	154	50	168	74	407 (+142%)	155 (+110%)
オーストラリア	36	10	125	32	157	38	130	34	189	56	185 (-2%)	59 (+6%)
中国	30	14	96	43	0	0	34	14	46	19	157 (+241%)	76 (+300%)
イギリス	26	15	36	14	57	17	48	18	58	23	112 (+92%)	41 (+77%)
アメリカ	17	28	39	25	46	24	29	16	91	36	81 (-11%)	37 (+5%)
インドネシア	0	0	0	0	15	3	8	3	57	18	74 (+30%)	24 (+30%)
ドイツ	7	4	50	14	55	15	50	14	47	14	60 (+28%)	20 (+39%)
モンゴル	3	2	3	1	4	1	7	2	73	14	51 (+30%)	10 (+32%)
マレーシア	9	4	15	6	22	6	10	3	6	2	49 (+117%)	15 (+647%)
その他	185	67	275	87	213	74	148	65	169	79	301 (+38%)	123 (+27%)

資料:財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く。)
注1:()内は対前年同期増減率である。
注2:「その他」に含まれる国は、2014年についてはロシア、タイ、オランダなど33ヶ国。
注3:数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

2012~2014実績 2015~2016計画

UNIT: トン

クボタ輸出量推移	2012	2013	2014	2015	2016
香港	80	300	600	800	5,000
シンガポール	0	30	290	600	5,000
モンゴル	0	70	50	200	300
中国	0	0	0	0	0
合計	80	400	940	1,600	10,300

クボタ・グループの
輸出量は堅調に推
移している。



2 海外精米販売会社の概要 For Earth, For Life Kubota

2-1 香港会社概要



会社名	漢字名	久保田米業(香港)有限公司
	英語名	KUBOTA RICE INDUSTRY (H.K.) CO.,LTD.
設立日	平成23年10月27日 (事業開始平成24年4月)	
住所	4F.,EVER GAIN BLDG.,21-23 YUEN SHUN CIRCUIT SHATIN, N.T., HONG KONG	
資本金	HK\$1,800万(約2億1千600万円)※HK\$1=12円	
出資	(株)クボタ 100%	
総経理(社長)	宮田 一彦(株式会社クボタからの出向社員)	
従業員数	6名(日本人2名、香港人4名)	

2 海外精米販売会社の概要

2-2 香港導入設備(精米設備)

For Earth, For Life
Kubota



食品加工工場認定
Food Factory
License保有

2 海外精米販売会社の概要 For Earth, For Life Kubota

2-3 シンガポール会社概要

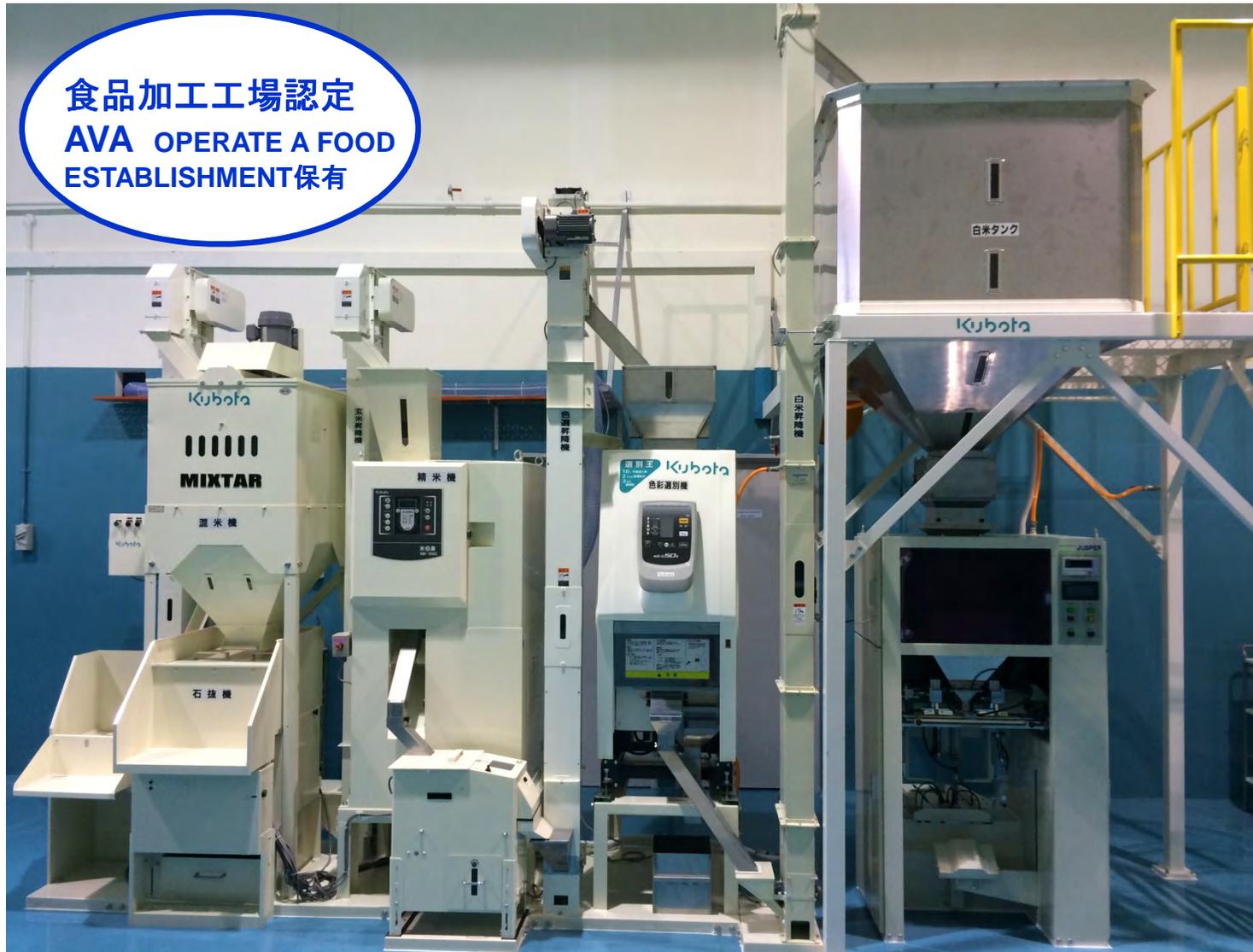


会社名	KUBOTA RICE INDUSTRY (SGP) PTE.LTD.
設立日	平成25年7月27日 (事業開始平成25年12月)
住所	1 SENOKO AVENUE #01-04 FOODAXIS Singapore 758297
資本金	SGP\$200万(約1億6千万円)※SGP\$1=80円
出資	(株)クボタ 100%
総経理(社長)	住中 卓史(株式会社クボタからの出向社員)
従業員数	5名(日本人1名、シンガポール人3名、インドネシア人1名)

2 海外精米販売会社の概要

2-4 シンガポール導入設備(精米設備)

For Earth, For Life
Kubota



AVA: Agri-Food & Veterinary Authority Of Singapore

2 海外精米販売会社の概要

2-5 導入設備(精米設備)



香港工場
7.5馬力精米ユニット
能力:約1,000トン/年

シンガポール工場
10馬力精米ユニット
能力:約1,200トン/年

2 海外精米販売会社の概要

2-6 導入設備(冷蔵倉庫)

For Earth, For Life
Kubota

香港工場



シンガポール工場



自社玄米保冷倉庫
日本品質の確保

高温多湿のアジアでは、年間を通して玄米も保冷倉庫で保管する事が必要。
日本からの玄米輸送は保冷コンテナを使用し、輸送中の品質劣化を防止している。
日本国内と同じ条件で保管する事で、日本品質の確保を実現している。

2 海外精米販売会社の概要

2-7 導入設備(在庫管理システム)

バーコードデータによる在庫管理システムを導入



バーコード・プリンター
・精米在庫ラベル
・客先出荷ラベル
・出荷梱包ラベル
3種類のラベルを印刷



2 海外精米販売会社の概要

2-8 導入設備(在庫履歴管理)

バーコードによる在庫管理システム

日本出荷	倉庫受入	精米指示	精米在庫
			
<p>日本国内出荷時に指定の玄米ラベルを貼付(玄米袋)</p>	<p>受入時に一袋毎にバーコードを読み取りデータベース化</p>	<p>精米指示書に基づき投入玄米LotNo.をバーコードで確認</p>	<p>精米製品に精米Lot.No.が印字されたラベルを添付</p>

バーコードシステムにより管理コンセプト



食品安全マネジメントシステムの国際規格
 GAP、HACCP製品の加工・販売も認められる
 ※SGP工場は認定取得予定

相乗効果

2 海外精米販売会社の概要

2-9 導入設備(検査機器)

白度計



食味計



穀粒判定器



重金属測定器



「安全」・「安心」・
「美味しさ」を数値化



全ロット検査



データ保管

放射能測定器



2 海外精米販売会社の概要 For Earth, For Life

2-10 (厨房機器)



美味しく食べて
もらう努力を惜
しまない。

日本の炊飯文化は特徴的であり、「計る」「研ぐ」「浸す」「蒸らす」と言った炊飯作業を正しく伝える事は難しい。



業務販売向けには全自動洗米炊飯機や酢合わせ機など厨房機器の提案を行い、炊飯品質向上による需要拡大に努めています。

ライスホ'



全自動洗米炊飯機

洗米ホ'



自動洗米機

シャリホ'



自動酢合わせ機

一般消費者向けパンフレット

炊飯の仕方(広東語)

The brochure includes the following sections:

- 準備量米** (Preparation of rice): 量取一磅的米 (weigh 1 lb of rice), 用篩篩淨米 (sift the rice), 用篩篩淨米 (sift the rice).
- 一洗米! 洗米一take過!** (Wash rice! Wash rice once!): 一般家庭日本米之粗磨度為 3~4 等, 而全自動機之米洗洗後磨度為 5 等之「一洗米」, 所以只洗 1 次即可。洗米後, 瀝乾水分。
- 調節好水的份量** (Adjust the amount of water): 每磅米一磅水 (1 lb of rice, 1 lb of water), 每磅米一磅水 (1 lb of rice, 1 lb of water).
- 記緊要吸水** (Remember to absorb water): 煮飯之前, 必須將米粒之水份吸乾, 日本米之吸水時間約 15 分鐘, 若吸水時間太短, 則煮飯時, 米粒會吸收太多水份, 導致煮飯時, 米粒會吸收太多水份, 導致煮飯時, 米粒會吸收太多水份。
- 開始煮飯** (Start cooking): 將米放入鍋中, 在煮飯前, 先不要打開蓋, 讓米在鍋中煮 15 分鐘, 打開蓋, 攪拌米, 讓水分均勻, 這就完成一磅米之煮飯。
- 妥善保存** (Proper storage): 米粒煮好後, 在煮飯前, 米粒會吸收太多水份, 導致煮飯時, 米粒會吸收太多水份, 導致煮飯時, 米粒會吸收太多水份。

歡迎網上訂購 otentoprime.com.hk

3 効果と問題点

新規需要米(輸出用)契約による効果

- ✓減反対象圃場での米生産量の増大が可能となる。
- ✓契約栽培による安定した生産量の確保が可能となる。
- ✓多収穫品種の栽培による生産量の増大が可能となる。

現地精米による効果

- ✓現地精米による日本米品質の向上が可能となる。
- ✓他国産米との差別化が可能となる。

その他の効果

- ✓米産地からの輸出による港の利用促進が可能となる。
- ✓海外市場進出により、日本産米の需要拡大が可能となる。

問題点

しかし、改善して行かなくてはならない事もある

海外市場における外国産米との競争が始まる(中国、アメリカ、オーストラリア、ベトナム)。国際競争力を高める為、生産の合理化や品種の選定も行う必要がある。海外でのニーズを捉え、「作った物売る」から「売れる物を作る」変革が求められる。

4 輸出货量拡大施策(案)

安心・安全な輸出用日本米のガイドライン設定

- ✓重金属の輸出米規定値の設定(輸出国別CODEX基準)。
- ✓放射能測定の規定化(震災の風評被害は残っている)。
- ✓細菌(アフラトキシン等)の測定基準の検討(他国産で問題有り)。
- ✓品質管理基準の順守(ISO22000、HACCP、GAP等)

更なる付加価値の創造

- ✓「安全・安心」の数値化表示の検討
- ✓「健康」の理論値化→栄養成分表示(ビタミン、ミネラル等)
- ✓「食味値」の統一規格設定(測定機器により差がある)

その他

- ✓輸送・保管庫の効率化(管理・輸送コストの削減)
- ✓輸出国向け製品表示方法の再検討
- ✓日本米輸入規制国における規制緩和



世界人口は増加を続けており、穀物市場は拡大している。海外市場に向けての生産地・品種の育成、官民一体となった新興市場への参入が必要と考える。

5 合理化への提案①

For Earth, For Life
Kubota

鉄コーティング直播の提案

クボタからのご提案 **省力・軽労化・低コスト稲作! 鉄コーティング直播をはじめましょう!**

つらくないですか? 田植えの苗運び

田植え作業での苗運びは主に女性の仕事。重い苗箱を何度も運び、田植機に苗を補給するのは大変な作業です。

苗運びが大変!



いつも田植えの後は苗運びでクタクタ...
何とかならないかしら?

ここが違う! 鉄コーティング直播 補助者の作業が楽ラク

鉄コーティング直播は、コーティングした種籾を準備するだけ。重労働だった苗運びや田植機への苗補給が楽になります。

■ 移植の場合
1000kg (10回)

■ 鉄コーティング直播の場合
3~5kg (1回)

鉄コーティングは重労働から解放!

10a当りでの比較

移植作業	鉄コーティング直播取組
苗箱の重さ 5kg	苗箱の重さ 5kg
苗運び回 10回	苗運び回 1回
苗箱数 20箱	苗箱数 1箱
5kg x 10回 x 20箱 = 1000kg	鉄コーティング 種籾 3~5kg

※1) 育苗ハウスから移植機に運ぶまでの箱を動かす工程

さらに、鉄コーティング直播なら 専用機で点播直播!

クボタ鉄コーティング直播専用機「鉄まきちゃん」なら、高精度な点播直播が可能。移植と同じ正条植えで、健康な稲が育ちます。

点播直播のメリット

- 1 出身苗立ちのムラがなく、苗立ちが一安定します
- 2 日当たりや風通しが良く病害虫の発生が少ない
- 3 茎が太くなり茎葉が向上、株が剛健し根張りが良く倒伏に強い
- 4 移植と同等の品質・収量が確保できます




クボタ鉄コーティング直播専用機 4条 鉄まきちゃん

業界初! 鉄コーティング直播専用機



- ◆ 高精度点播
- ◆ 枕地なし不要 (ワンフロート)
- ◆ 溝切り・除草剤散布・施肥化が同時作業で省力化!

メーカー希望小売価格
EP4-TC
94.29万円(税込)

多彩な機能で、ラクに、快適に、直播を実現

- 運送や保管への配慮もつくります。
- 小さな機体も快適な操作性です。
- 直条専用の専用機にも便利です。

考えてますか? 経営規模の拡大

経営規模の拡大を考える生産者の方にとって、労働時間や新たな投資は大きな課題です。

**拡大はしたいが
労働時間が大変!**



面積を増やして経営規模を拡大したい...
良い方法はないかな?

ここが違う! 鉄コーティング直播 労力軽減と作期の分散

移植栽培に比べ、育苗作業の手間が省け労働時間の短縮が可能です。また移植栽培と組み合わせることで作期の分散が図れ、機械や乾燥調製施設の効率的な活用が行えます。

労働時間の比較 (1haあたり)

項目	移植 (時間)	鉄点播 (時間)	削減率
育苗	16.0	6.8	58%低減
移植	9.2	6.8	26%低減
合計	25.2	13.6	46%低減

※ 育苗: 移植は苗づくし、田植作業の時間。鉄点播はコーティング・直播作業時間。岡山県(全作業工程の労働時間)移植: 平成29年。鉄点播: 平成29年。岡山県(全作業工程の労働時間)移植: 平成29年。鉄点播: 平成29年。岡山県(全作業工程の労働時間)移植: 平成29年。鉄点播: 平成29年。

なるほど、これなら規模拡大が図れるね!

▲ 鉄コーティング直播(育苗)は移植栽培(育苗)より出穂期、収穫期が遅れるので作期の分散が図れます

さらに、鉄コーティング直播なら コスト削減が図れる!

鉄コーティングは、移植の育苗に比べて、種苗費や資材費、労働費などの削減が図れます。

10a当りの生産費 (新潟県 有限会社Sの例)

項目	移植 (円)	直播 (円)	削減率
育苗費	18,316	13,733	25%低減
資材費	18,316	13,733	25%低減
労働費	18,316	13,733	25%低減
合計	55,348	40,200	27%低減

出典: 新潟県水稲栽培統計

苗づくりが楽になって生産コストが下がるのはうれしいね!

クボタ鉄コーティング用直播機 鉄まきちゃん(6条・8条)

高速・高精度点播を実現!

作業速度 18 m/s



- ◆ 同時作業で省力!
- ◆ 溝切り作業(溝切り機標準装備)
- ◆ 除草剤散布(こまめちゃん標準装備)
- ◆ 施肥
- ◆ 大容量ホッパー
- ◆ 播種量全条同時調整

メーカー希望小売価格

- NDS-B 64.89万円(税込)
- NDS-6P 68.04万円(税込)
- NDS-8 73.29万円(税込)
- NDS-8P 78.64万円(税込)

※(P): 肥料撒布機取付仕様

「鉄まきちゃん」は「クボタ多目的田植機」に設置する直播機です



EP07 (6条機) EP07 (8条機)
EP8D (6条機) EP8D (8条機)

メーカー希望小売価格(税込)10%OFFが適用されます

5 合理化への提案②

スマートアグリシステムの提案 その1

1 情報通信技術の活用による機械開発の現状と方向

(1) 農業構造の変化への対応

近年、就農者の減少や担い手の高齢化が進み、労働力の不足が深刻化しており、省力、軽労化技術や非熟練者に対応した技術の構築が重要な課題となっています。

このため、ICT（情報通信技術）やRT（ロボット技術）を活用したスマート農業の導入を図り①超省力、高収量、高品質米生産の実現②無人化、自動化による省力化、経営規模拡大③圃場位置情報、精密栽培管理（地力、施肥、生育情報、収量、品質など）システムが実現しました。

(2) 新たな米戦略農業を展開する「KSAS」

クボタは、平成26年6月からICT活用稲作機械（コンバイン、田植機、トラクタ）を市場導入しました。

収穫時、食味・収量・水分測定コンバインとこれらの結果を踏まえた適正な施肥設計に基づく自動調整施肥田植機、トラクタにより、高収量、高品質良食味米生産が出来るようになりました。

併せて、作業記録、経営記録も自動記録できることから、栽培技術、経営記録のデータベース化によって、稲作技術及び経営管理の強化、発展を図ります。



2 KSASによる高収量・高品質良食味米生産技術

(1) KSASによる支援コース

KSASのプランとして、①日々の農作業・圃場管理でお困りの方への「基本コース」②収量と食味を追求した営農改善を求める方への「本格コース」があります。

コース別機能	KSAS対応農機	KSASモバイル	営農支援システムの機能									
			ほ場MAP	日誌記録	作付計画	作業計画	作業指示	収量・食味 (2016年)	施肥計画	売上分析	農機診断カルテ	
基本コース	未所有でも可	△オプション	○	○	○	○	○	△	×	×	×	×
本格コース	必須	必須	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(2) 高収量・良食味米生産のサポート

- 食味・収量が測定できる新型コンバインによる圃場ごとに食味・収量データを収集・分析できます。
- 翌年の施肥設計に反映し、圃場ごとの食味・収量の改善につなげることができます。



(3) 作業効率の向上・コスト低減

- 規模拡大に伴う圃場の管理を効率化、作業・栽培記録を蓄積・分析することで、作業効率の改善、翌年の作業計画に活かすことができます。



(4) 安心・安全な農作物づくり

- 作業情報に基づき栽培管理や、GAP等に対応した適切な栽培管理をサポートできます。
- それにより圃場から食卓までのトレーサビリティを明確にし、農産物の付加価値向上や競争力の向上（ブランド化）に貢献します。



(5) 農業機械のセルフメンテナスの簡便・容易化

- KSAS対応機から自動収集された機械稼働情報を「診断カルテ」として、お客様に提供できます。
- 適切・迅速な点検・診断・部品交換ができ、機械の効率的なメンテナンスサポートができます。



※この画面はイメージです。

5 合理化への提案②

スマートアグリシステムの提案 その2

3 KSAS対応機種ラインナップ

(1)KSAS対応コンバイン

- 刈取りと同時に食味センサで生モミの水分含有率・タンパク含有率を測定。同時に収量センサで収量水分を測定できます。
- KSASとの連動により、データに基づく食味・収量向上の取組支援を実現。「新しい営農」の提案につながります。
- 刈取りながら「マルチナビ」で食味・収量・水分データが確認できます。



(2)KSAS対応田植機

- 圃場ごとに面積を把握し、設定した施肥量データを田植機に送信することで、施肥量を電動で自動調整。圃場ごとに設計通りの肥料散布ができます。
- 圃場ごとに最適な施肥を行うことで、米の品質や収量の向上が期待できます。また、無駄がなくなり、コスト削減につながります。



(3)KSAS対応トラクタ

- KSASとリンクし、無線LANユニットを標準装備しています。
- KSAS対応車速連動インプラメントを使用すれば、作業する圃場とその圃場での肥料の散布量を設定できます。
- トラクタの車速が増減しても、常に設定した散布量になるように自動調整ができます。



▲KSAS対応トラクタ+車速連動ワイドスプレッダ

4 KSAS導入による経営改善と成果(事例紹介)

2011年～2013年に新潟県で開発実証を実施し、2013年からは全国各地でモニター活動を行うことで、精度向上を図っています。米主産県を中心に行政、農業団体、大規模稲作経営者が「高品質良食味米生産」を求め、KSAS対応機械及びシステムに高い関心を示されています。

刈取と同時に圃場ごとの食味・収量・水分データが取得でき、次の米づくりができる

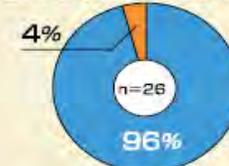
新潟県 長井農園 長井範親様



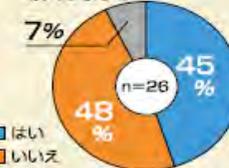
KSAS対応コンバインは、刈取時に食味・水分がわかるので、乾燥・調製作業が効率的に行えます。また、作業がより詳細に自動記録できるので、自信を持ってお客様に安心安全を届けることができます。

農業法人、市町村、JA関係者にKSASのアンケート調査

これからの農業経営に活用しますか



ICT機械、機材について積極的に導入しますか



©2013 クボタ調査

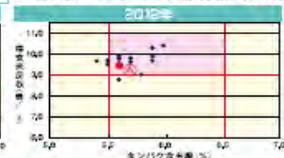
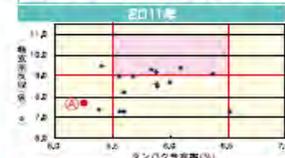
こんな営農システムを10年前から待っていた!

大分県 南中原農場様

自分が目指す、作物の収量アップと利益アップが見込める農業経営に大いにプラスになると思います。10年前からKSASのようなシステムを待っていました。

■新潟県での3年間の実証成果

15農場(約2,6ha)による技術実証試験 目標 タンパク5.5～6.5% 精玄米収量9割以上



実証1年目は、農家の経験設計で、収量、食味にバラツキがあります。

2年目は、前年の結果に基づき、農家設計を改善しKSAS田植機で施肥、収量・食味とも改善されました。

3年目は、更に農家設計改善により、目標収量確保と特に食味が向上しました。

6 まとめ

日本の農業支援ならびに世界の皆さまに安心・安全な日本米を安定的に供給する為、クボタ・グループは総力をあげて日本産米の海外販路の拡大を行ってまいります。色々な願いをする事も多々あるかとは思われますが、海外における日本産米の需要拡大に向け、変わらぬ御支援・御鞭撻を賜ります様、何卒、宜しくお願い申し上げます。

平成27年4月15日
株式会社クボタ
アグリソリューション推進部
高橋 元

クボタ・グローバル・ループ＝「食料・水・環境」の関係
「食料」「水」「環境」は個別のテーマではなく、密接に結びついたテーマ

世界をつなぐ、食料・水・環境。

この里には、守るべき「たからもの」がたくさんあります。
食料・水・環境、そして子どもたちの笑顔。
クボタグループはこれからも歩み続けます。
豊かな食料、安心な水、快適な生活環境を人々に届けるために。
世界中を笑顔でつなぎ続けるために。

For Earth, For Life
Kubota



株式会社クボタ
www.kubota.co.jp



新聞記事

2012年6月6日 日本経済新聞

クボタがコメ輸出

農機メーカーのクボタは国内の有力産地と組んでコメ輸出を始める。まず新潟県産の販売を今秋に香港で開始。産地や輸出先を順次広げて3年後には現在の日本の総輸出量の4分の1にあたる年500トの販売を目指す。品質の高い国産米は海外で需要が伸びるとみており日本の農業が攻めに転じるのを支援する。

すでに香港では新潟県産コシヒカリなどを試験販売しており、今秋収穫の新米から本格的に輸出する。初年度に約200トを見込む。軌道に乗れば中国本土やシンガポールへの輸出も検討する。

クボタの関連会社で農機販売の新潟クボタ(新潟市、吉田至夫社長)が地元農家

アジアの富裕層を開拓

から集荷。鮮度を保つため、香港子会社、久保田米業の冷蔵倉庫で玄米のまま保管し、受注後に精米・出荷する。現地に本格的な精米所を持つのは珍しい。

主に日本料理などの外食店に販売するが、現地での日本食人気をにらんで、富裕層などにもインターネットで売り込む。放射線測定器による検査も実施する。

クボタは農機販売を通じて国内産地と密接な関係を築いており、コメ輸出でも連携を働き掛ける。これまでは国内市場を念頭に農家に農機の使い方や栽培方法を提案してきたが、今後は海外の顧客がどんなコメを求めているかを把握し、農家と共同で海外で売れるコメ作りに取り組み。

2013年7月5日 日本経済新聞

コメ、シンガポールで

クボタ10月から 飲食店向け販売

クボタは10月から日本産のコメの輸出先をシンガポールにも広げる。昨年始めた香港向けと合わせて、2015年に1230トの販売をめざす。昨年の日本全体のコメ輸出量の半分に相当する。

現地の飲食店を中心に予想以上に引き合いが強いという。国内のコメ消費量が減少するなか、販路を海外に広げて農家の経営を支援する。

8月に全額出資の販売会社「クボタ・ライス・

インタストリー」をシンガポールに設立する。資本金は200万ドル(約1億6千万円)。新潟県産や山形県産のコメを玄米の状態に輸出し、現地で精米して日本と同じ程度の値段で販売する。15

年に510トの輸出をめざす。当面は現地の日本料理店など飲食店向けが主流になるが、将来は小売店で日本食の献立や調理方法も伝えていくことなどで、一般消費者の需要も取り込む考えだ。益本康男会長兼社長は「国内の男会長の消費量が減っており、耕作放棄地も増えて

いる。コメの販売拡大には輸出を増やすことが不可欠」としている。

今秋香港へ、初年度200ト

J A全農との協業に関する新聞記事

2015年1月20日 日本農業新聞

日本農業新聞

香港・シンガポールへ米輸出

2年で1万トン目指す

全農・クボタ 現地精米を増強 提携で合意

JA全農は19日、農機メーカーのクボタ（大阪市）と共同で、香港・シンガポール向けの米の輸出拡大に乗り出すことを発表した。両地に精米施設を持つクボタの子会社に全農が増資し、施設の処理能力を増強。国内産地からの玄米調達も全農が積極的に行い、2016年度までに年間輸出量を、13年度全農とクボタを合わせた輸出量の約10倍に当たる1万トンとする目標を掲げる。

全農とクボタは、新たな販路の開拓で国内産地の生産振興につなげようと、昨年秋から共同での米輸出の検討を進めており、同日に合意書をつくらせた。

全農の13年度の米の輸出量は320万トンで、うち香港とシンガポール向けは230万トンと占める。国内で精米して輸出する形も増えて、一方で、クボタも独自に産地から玄米を調達し輸出。香港・シンガポールにある子会社が現地の米の集荷は、全農が主に担う。玄米での輸出は

この子会社に全農が増資することで、15年度中に精米施設を増強する。年間処理能力は現状はそれぞれ1000トンだが、5000トンに伸ばす。15年度からは産地から15年産からの産地から

一本化し、紙袋で輸出していたものをフレコンに切り替えるなど、流通コストの低減も進める。現地では主に、レストランなどへの業務用として販売する。全農によると、シンガポールと香港では、中短粒種の米の年間需要量はそれぞれ2万小程度、米国産が大部分を占めている。この一部を「現地精米による鮮度のPRなどで日本産に置き換えてい」（全農経営企画部）考えだ。干ばつの影響で米国産

が値上がりしていることや為替の円安傾向も、現地で日本産米のシェア拡大に追い風になるとみている。

2015年3月26日 新潟日報

JA全農とクボタの輸出

魚沼コシヒカリ 香港輸出 新潟



輸出用コンテナに魚沼産コシヒカリを積み込んだ輸出作業＝25日、新潟市北区

JA全農は全国の地域農産物、魚沼コシヒカリを積み込み、25日は輸出用コンテナに

JA全農とクボタは、協同（JA）からコメを集荷（JA全農、東京）とクボタ（大阪市）が共同で、クボタ（大阪市）は25日、香港は香港とシンガポールに精米施設を持つ。互いの強みの出荷作業を新潟市北区を生かして輸出拡大を目指す。両者によるコメそうと1月、香港、シンガポールの輸出は全国初で、2016年度に共同で取り組むことを決めた。2016年度に年1万トンの輸出を目指す。

JA全農は全国の地域農産物、魚沼コシヒカリを積み込み、25日は輸出用コンテナに

新潟東港へ運んだ。28日に到着する予定だ。品質や鮮度を維持するため玄米の状態でも輸出し、クボタの現地施設で精米する。15年度は試験的に行い、要望などにより全国各地のコメを集荷し、産地に最も近い港から出荷する考え。

農林水産省によると、2014年のコメの輸出量は約4500トン。JA全農輸出推進課の菊地昭彦主任課長は「輸出は国内のコメ余りを解消する手段の一つ。香港、シンガポールに需要を拡大し、欧州にも広めていきたい」と意気込んだ。

